

令和3年度 第1回鳥取大学経営協議会 議事要旨

日 時 令和3年6月21日(月) 13:30 ~ 15:13

会議方法 Google Meetによるオンライン会議

出席者 (学外) 江崎, 熊埜御堂, 中島, 松本, 宮崎, 吉岡, 渡辺の各委員
(学内) 中島, 田村, 河田, 細井, 小嶋, 藪田, 坂本, 原田の各委員

陪席者 田中監事, 後藤副学長, 安延副学長, 岸本地域学部長, 中村医学部長,
坂口工学部長

<委員・陪席者の紹介>

議長より, 委員及び陪席者の紹介があった。

議長代理の指名

議事に先立ち, 議長より, 議長代理の指名について, 第1順位を教育担当理事(田村理事), 第2順位を研究担当理事(河田理事)とする旨発言があり, 承認した。

議事要旨の承認

前回(令和3年3月15日開催, 令和2年度第5回)の議事要旨を承認した。

議 題

1. 「鳥取大学ビジョン2030」の策定

資料1に基づき, 第4期中期目標・中期計画の策定に先立ち, 2030年までに目指すべき方向性や到達しておきたい状態を示すものとして「鳥取大学ビジョン2030」を策定することに関して説明があり, 審議の結果承認した。

— 委員からの主な発言 —

- ◇ 高度な医療体制の実現を目的とした医学部附属病院再開発計画について, 地域医療を取り巻く国の政策転換や地域医療構想を加味したものかという質問があった。

これに対して, 医療分野における急速なIT化・デジタル化の進行に伴い, 10年後の病院構造を予想することは困難であるが, 日々の研究により情報を積み上げていく考えであることや, 大学病院としての機能分化や病床配分について地域医療機関や鳥取県全体の状況を勘案した上で検討していく必要がある旨, 本学より説明があった。

2. 第4期中期目標・中期計画の策定

資料2に基づき、第4期中期目標・中期計画の仕組み及び令和3年7月末までに文部科学省に提出する素案について説明があり、審議の結果承認した。

— 委員からの主な発言 —

- ◇ 人口減少や高齢化が進む鳥取県というコミュニティの中で、地域の課題解決のために鳥取大学の果たすべき役割は大きいと考えるが、具体的にどのようなことを考えているかという質問があった。

これに対して、各学部や教員がそれぞれの現場で地域の課題解決に向けた検討がなされており、今後学内での検討やモニタリングを経て決定していく旨、本学より説明があった。

3. 令和2年度業務実績報告書

資料3に基づき、令和2年度業務実績報告書について、「重点的に取り組んだ事項」、「戦略性が高く、意欲的な目標・計画」及び「機能強化の重点支援」について説明があり、審議の結果承認した。

4. 令和2年度決算

資料4に基づき、令和2年度決算について、貸借対照表及び損益計算書等により決算の概要の説明があり、審議の結果承認した。

5. 学長選考会議委員の選出

資料5に基づき、学長選考会議委員については令和3年3月31日をもって任期が満了したことから、経営協議会学外委員のうち6名を学長選考会議委員として選出したい旨、また、任期については、本日から経営協議会委員の任期の末日までとしたい旨の説明があり、審議の結果承認した。

報 告

1. 2021年度における国立大学法人ガバナンス・コードへの適合状況等の確認・公表

資料6に基づき、「国立大学法人ガバナンス・コード」について、2021年度の適合状況等の確認及び公表に係るスケジュール案、文部科学省による前年度適合状況等の確認結果等の説明の後、7月中旬頃に委員に対して書面で意見照会を行う旨説明があった。

2. 令和2年度資金運用実績

資料7に基づき、令和元年度資金運用実績について、受取利息が9,945

千円となった旨報告があった。

3. 令和4年度概算要求の方向性

資料8に基づき、令和4年度国立大学法人運営費交付金概算要求の方向性について報告があった。

4. 令和2年度就職状況等

資料9に基づき、令和2年度就職状況及び本学卒業生の県内定着状況について報告があった。

5. 令和3年度入試状況

資料10に基づき、令和3年度入試状況について報告があった。

その他

- ◇ 資料11に基づき、最近の本学の主なトピックスについて説明があった。
- ◇ 資料12に基づき、令和3年度第2回目を9月27日開催予定である旨説明があった。